

わたしは、ことしのおぼんに青森けんに行きました。なくなつたひいおばあちゃんのはつぽんで、おはかまいりをするためです。前に青森けんに行ったのは、六年前で、わたしが二さいの時であんまりおぼえていません。弟は、はじめてです。

青森けんには、車で行きました。お母さんが、「千キロもあるよ。」

と、言っていました。とても遠くて車の中の時間が長かったです。

青森けんについたら、夏なのにさむくてびっくりしました。

「ついたよ。」

お母さんに言われて車を降りると、ひいおじいちゃんがにこにこして出てきました。ひいおじいちゃんは、九十四さいで、みんなに「おっちゃん」とよばれていました。おっちゃんは、耳が聞こえにくくて電話の音も気づかないくらいです。話をする時は、耳の近くで大きな声でゆっくり話すと分かりやすいみたいでした。目も見えなくなつていて、字が見えないので、虫めがねをつかっています。くふうをしていてすごいなと思ったし、目や耳がつかえなくなるのはたいへんだと思いました。

おっちゃんの家のすぐ近くには、みなとがあつて、船がたくさんありました。冬にはホタテがたくさんとれるそうです。海をのぞきこむと、ケガニがぶかぶかういていて、びっくりしました。お魚が泳

いでいるのも見つけました。

そこを見てみると、いろんな家の入口にちょうちゃんがぶら下げてあるのを見つけました。おぼんには、まい年出すそうです。いろんな色のちょうちゃんがあつて名前が書いてあるものや花のかざりがついているものもありました。夜になるとならんで光っていて、とてもきれいでした。

ひいおばあちゃんのおはかまいりに行つてみると、おはかが大きくてりっぱだなあと思いました。こっちの家でやるおはかまいりとはやり方がちがつて、ごはんやおかずのつたおぼんをおそなえしていてびっくりしました。

「ごはんをいっぱい食べてね。」

と言いながら、弟といっしょにお米をおはかのまわりにまきました。はじめてのことばかりだったので、楽しかったです。

おっちゃんといっしょにラーメンを食べに行きました。おっちゃんは、みそラーメンが大すきだけど、車がなくてなかなか行けないので、すぐよるこんでいました。おっちゃんは、こしがまがつていないけど、せいざしてすわれないので、高いいすの方がらくだと言っていました。おっちゃんが弟に

「うめえか？」

と聞くと、おとうとはひつじのまねをして

「メー。」

とこたえていました。それを見てみんなわらっていました。おっちゃんは、わたしたちのことをじいいと見て、

「めんこいなあ。」

と言っていました。いみはわからなかったけど、後から聞いたらか

わいいといういみでした。

おっちゃんといっしょにいた五日間は、あつという間でした。さよならする時、おっちゃんはないでいて、わたしたちがのっている車が見えなくなるまでぼうしをふっていました。

はじめてのことばかりでどきどきしたけど、すごく楽しかったです。また、おっちゃんに会えるのが楽しみです。こんどはいっしょにつりをしたいです。